



千葉市立誉田中学校 学校だより

誉田のかぜ

学校だよりは HP にも掲載してあります

第18号

令和7年1月10日発行

千葉市立誉田中学校

TEL291-0012

◆目指す生徒像 ～挨拶がしっかりできる～◆

校長 北島 啓行

本校の目指す生徒像は、年度当初の保護者会でご説明した通り、「あ・い・う・え・お」でまとめられています。

- あ 挨拶が心からできる、礼儀正しい生徒
- い 意欲をもって、ともに学習や運動、文化的活動等に取り組む生徒
- う 美しい環境づくりに励む生徒
- え 笑顔で全力を尽くし、生き生きとした生活のできる生徒
- お 思いやりのあるやさしい生徒

その中の1番目に、「挨拶が心からできる、礼儀正しい生徒」とあります。本校を来校された方から、「生徒さんはよく挨拶をしますね」とお褒めの言葉をいただくことがありますが、その質的なものはどうか、ということを考えてみる必要があると思います。そこで・・・

あ・・・明るくすること

EYES TO ME. 挨拶は何より目をみてすることが大事です。また、元気のよい挨拶は自分と相手に活力を生み出します。相手の心を開き、関係を近づけるきっかけになるものです。

い・・・いつでもする

その時の気分でしたり、しなかったりでは意味がありません。意識的に行うことで、習慣にすることがなにより大切です。

さ・・・先にすること

挨拶は先手必勝です。人と目に入ったら、自分から進んで挨拶をすることが大事です。

つ・・・続いて言葉を添える

例えば、「おはようございます」だけで済ませるのではなく、必要に応じて「昨日はありがとうございました」など、何か言葉を添えると、単なるルーティーンでなく、心のこもったものになります。

ぜひ将来、社会に出たときに役に立つ、「あ・い・さ・つ」の基本をご家庭でも確認いただけると幸いです。

◆元旦マラソン◆

1月1日（水）、地域恒例の元旦マラソンを実施しました。

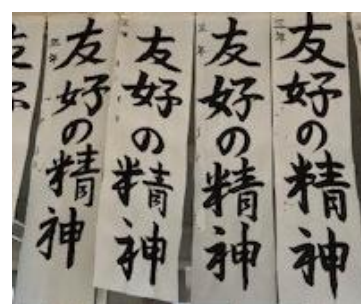
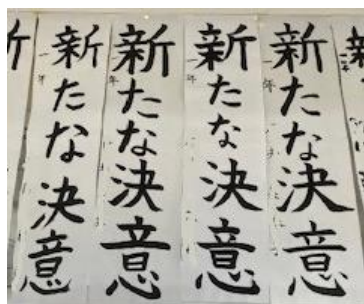
例年ですと男女別、学齢別で順位付けを行っていましたが、今回は第50回記念大会ということで、順位付けを行わない形で開催しました。このマラソン大会は、誉田中学校区青少年相談員主催、青少年育成委員会協賛のもと、多くの方々の協力により成り立っているものです。前日準備から始まり、当日の運営に至るまで、ありがとうございました。当日は晴天の下、150名ほどの小中学生、一般の方々が新春の風を感じながら、清々しい汗を流していました。



今年度の課題
一年 新たな決意
二年 生命の尊重
三年 友好の精神

◆校内書初め展◆

現在、冬季休業課題の書初めを各教室前の廊下に掲示しています。各学年とも立派な墨書で、新年の意気込みを感じるものでした。



◆人権教室を開催しました◆

1月8日（水）に、2年生を対象に千葉人権擁護委員協議会の方をお招きして、人権教室が開かれました。人権擁護委員の方が5学級に分かれて、「Respect Others（リスペクト アザーズ）」というテーマで、帰国子女の生徒が日本で文化や習慣の違いに悩みながら、お互いを尊重しあう人間関係を構築していく大切さを学ぶものでした。



◆誉田中が「教育だよりちば」に掲載されました◆

「教育だよりちば」の巻頭に、誉田中学校の「地域ふれあいタイム」の記事が掲載されました。「教育だよりちば」は千葉市教育委員会発行で、年4回市内の公立小・中・高に在籍する児童・生徒の家庭に配布されるものです。今回は、11月2日（土）に開催された、学校支援地域本部事業の「地域ふれあいタイム」の「バルーンアートづくり」、「土偶づくり」、「犬のぬいぐるみ（人権）をつくろう」の紹介がされました。各家庭にも配布されておりますので、是非ご覧ください。

